



学校教育目標

ともに学び自ら伸びる～自他尊重～

目指す資質能力

主体性 表現力	協働性 自己有用感
------------	--------------

被爆80年に関わる平和学習

講師として藤井正一先生(JICA 講師、元広島市国際交流課長)を迎え、被爆による被害や復興についてのお話をいただいた後、パネルディスカッションを行いました。コーディネーターの校長先生の進行のもと、パネラーとして講師の藤井先生、地域代表の佐々木英行様、石原先生のほか、生徒代表として3年の岩谷君や向井君も参加しました。生徒の二人は、講話を受けた感想や、これまで平和について考えてきたことを話し、今後への力強い決意も述べました。また、石原先生からは社会科教員としての使命について、藤井先生と佐々木様からは、生徒たちに期待することをメッセージとしていただき、大変充実したディスカッションとなりました。

被爆から80年を迎え、広島県に住む市民として戦争の悲惨さと平和の大切さを考え、復興に尽力した先人の取組を通じて、自分たちに何ができるかを考えました。

※講演後の生徒の感想を裏面に一部掲載しています。



当日は、司会や総括、謝辞など様々な場面で生徒の皆さんが運営に関わってくれました。

<開会行事>

執行悠太君、藤重昌樹君、福岡未羽さん

<閉会行事>

吉田桃花さん、荒川零那さん、中本隆由君

性教育

講師として「みんなの助産師」の小林茉里亜先生を招聘し、「自分にとっても相手にとっても心地よい関係を築く」ためのお話をしていただきました。1年生は「プライベートパーツと体の発達」、2年生は「境界線と同意」、3年生は「性交同意年齢、妊娠と感染症」など、各学年の発達段階に応じたテーマを分かりやすい言葉で丁寧に教えていただきました。例えば、「安心安全は自分で守るぞ！～人の気持ちは分かりにくいもの～」というテーマに基づき、自分を大切にすることで相手も大切に行けるということを学びました。SNS上の文字表現を例に挙げ、相手の気持ちを誤解しやすい場面について具体的に考えました。また、今日からできることをロールプレイングを交えて考えたり、感染症の怖さを実験を通して視覚的に実感する活動を通じて、正しい知識を深めていきました。



☎ 防災キャンプに向けての学習

6/20～総合的な学習の時間で学習がスタートしました。まずは、3年生の先輩や、地域の方からお話をいただきました。「中学生が地域の防災のリーダーとなって取り組めるよう、学習を重ねていきます。



教員の校内研修

今年度は、廿日市市教員委員会より「子どもが主役の授業を推進していこう！事業」の指定を受けており、日進月歩のICT(情報通信技術)を授業で効果的に活用し、主体的で対話的な深い学びを促すことができるよう、教員みんなで意見交換をしながら研究を進めています。



第74回大竹市・廿日市市中学校春季総合体育大会の結果 (敬称略)

剣道の部	男子団体	第2位	向井良太 小川流聖 西岡暖斗 下沖勇心 河野旭希
	女子団体	第3位	節原菜乃 藤丸命生 九津見青 徳毛真歩 樹田花
ソフトテニスの部	男子団体	第3位	安倍啓太 福泉仁 伊藤颯祐 佐藤蹴斗 日野綾人 岡邑結世 大野響生 今田蒼空
	男子個人	第1位	福泉仁 安倍啓太
	女子団体	第3位	長原柚葉 秋田美月 大西湖花 吉田桃花 村田杏寿 荒川零那 大園陽菜 大園瑠菜
卓球の部	男子個人	第7位	石井 陽翔

その他、水泳競技平泳ぎ100mで、藤重昌樹君が県大会へ出場します。

★剣道男子団体、ソフトテニス男子個人、卓球男子個人は、県大会に出場します★

これからの主な予定 ※部活動の予定は、各顧問より配付されますので、そちらをご覧ください。

7月	9月
1日 読み聞かせ 食に関する指導(1年)	1日 始業式 教育実習開始(～9/24)
4日 教職員研修のため4時間で下校	3日 読み聞かせ 身体測定(1年)
16日 大掃除	5日 身体測定(2年)
18日 終業式	8日 身体測定(3年)
23日 期末懇談会	9日 3年総合校外学習
24日 //	12日 授業参観・修学旅行説明会
25日 //(3年のみ)	20日 大竹市・廿日市市中学校英語暗唱大会
8月	22日 「子どもが主役の授業を推進していこう！事業」研究授業
12日 ～14日まで 一斉閉庁	27日 防災キャンプ ※全学年登校 ※要 弁当
23日 子ども議会	29日 振替休日
25日 2・3年登校日(～29日)	30日 小中合同研修会(宮園小) 午後から下校
26日 復習テスト(3年)	
27日	
28日 1年登校日(～29日まで)	
29日	

8月26日(火)～29日(金) ※3年のみ弁当の用意をお願いします。

8月26日(火)～28日(木) ※2年生の職場体験期間中の昼食に関しては、各事業所の指示に従ってください。

★夏季休業中の学校の電話対応について★

休業中に何かございましたら、学校(38-3371)にご連絡ください。なお、電話対応は、勤務時間内(概ね午前8時15分～午後4時45分)とします。

休日、時間外などで緊急連絡が必要な場合は、市役所代表電話(20-0001)にご連絡ください。

★お知らせ★

事務室前に設置してある公衆電話が7月22日(火)に撤去されることになりました。お子様が緊急で連絡が必要な場合は、職員に相談するようお願いいたします。

生徒の感想



- 広島に原爆を落とされた当時に私は生きていませんが、今日の学習で原爆の悲惨さを知ることができ、当時の人の思いも少し知ることができました。私は原爆を経験していませんが、たくさんの人が亡くなって、たくさんの人が怖い思いをしたんだと思うと、絶対に戦争はあってはならないことだと思いました。たくさんの人々が数えきれないほどの大切なものをなくして、たくさん幸せを壊した戦争は絶対にこれからあってはならないと思いました。今ある普通の生活は当たり前のことじゃなく、一日一日を大切に、懸命に生きようと思いました。原爆のことを自分事として、考えて、これから大切に生きようと思いました。
- 今日の学習を通して、この80年間で何万人もの死者やたくさん家がなくなってしまったことがわかりました。中には原爆で親をなくしてしまった原爆孤児なども6500人くらいいることがわかりました。それでも、皆あきらめてしまうのではなく「人間がもたらした被害は人間の手で再び復興できる」という思想をもったり、補助金として一億円も出したり、皆がこの悲惨な出来事を忘れないようにと原爆ドームを残したままにしたり、海外の支援を受けたりと、皆で協力していつか今の日本、今の広島を創ったということを学ぶことができました。私は、この学習を通して、岩谷くんや向井くんが言っていたように、この出来事を昔のことだからとすぐ忘れてしまうのではなく、これから未来の人にこのことを伝えていってもらうようにするために、できることを考えていきたいと思いました。そして、もう二度とこのようなひどい出来事が起きませんように、今の生活を当たり前と思わず一日一日を大切に生きたいです。
- 私は、被爆者の方の話の中でも、特に日が燃え移らないようにするために建物疎開をし、その壊した家の片付けを手伝っていた学生が被爆したというのがとても心に残っています。その理由は、国の勝手で行かされた広島市の外部の子供たちがたまたまその時に原爆を落とされたことで被爆してしまったのが本当に心苦しい出来事だと思ったからです。僕がこの出来事を知って感じたことは、やっぱり戦争について学び、平和の大切さについて知る時は、死亡者数といった表面的な情報だけでなく、もっと詳しい内面的な情報を知ること、当時の人々の考え、思いをより深く理解し、戦争の悲惨さをよりリアルに感じること、だからこそ被爆者が減る今、できるだけ多くの方々の話を聞き、被爆したからこそわかる本当の戦争の恐ろしさを知り、そして、次の世代に伝えていく大切さを感じました。
- 今日のことを通して、改めて平和がどれだけありがたいかを実感しました。私のひいおばあちゃんが少し被害を受けました。生まれてくる子供が全員危険な物質により亡くなってしまい、養子としてきたのがおじいちゃんでした。意外と身近に被害を受けた人はいて、苦しい思いをしています。なので、私たちが忘れるわけにはいかないと考えます。もしかしたら、将来私たちが働くときに戦争に踏み出そうみたいになるときがあるかもしれません。そんなときに、私たちが声をあげられるようにしたいなと思います。そんなことが起きなくても、次の世代へと受け継いでいきたいです。原爆ドームが何も言わずに平和を訴えているので、私たちは言葉で伝えていきたいです。

○ 私は、今日の平和学習を通して、原爆によって失われたものの尊さはもちろん、原爆という絶望から今までは復興してきた人々の強さを感じることができました。また、今日の平和学習や毎日の社会の学習をするまでは、原爆や戦争についてどこか他人事であったり心のどこかで昔の話だったりしたので、これからは自分の事のように原爆や戦争のことについて意欲をもって学習していきたいと思いました。そして、藤井先生の「戦争は国同士がするものであって国民同士がするものではない」という言葉が心に刺さり、東日本大震災の時には海外からたくさんの支援が届いたのだと、自分の中でとても納得がきました。一日、一分、一秒を大切に生きて行きたいと思いました。



もしも、心が疲れてしまったら・・・

夏休みは普段と違う生活でリラックスでき何かと開放的になる季節ですが、逆にそんなときだからこそ、一人で悩みを抱え込んでしまうことがあるかもしれません。そんなときは、一人で抱え込まず、誰かに相談してみましょう。学校以外にも、気軽に相談できる公的機関がいろいろあるので、ご紹介します。

学校相談ダイヤル
(性暴力・セクハラ・体罰)

早期の状況把握・被害の拡大防止のため、性暴力、セクシュアル・ハラスメント、体罰等の相談窓口を設置しています。1人で悩まず、いつでも相談してください。

■ 小・中学校などの市町立学校

各市町教育委員会にお問い合わせください。
各市町教育委員会の連絡先一覧はこちら▶

■ 県立学校

全ての県立学校に相談窓口(担当教職員)を設置しています。担当教職員は、管理職を含む複数の教職員です。電話による相談については、学校の代表連絡先一覧はこちら▶

■ 県教育委員会事務局 (専用電話)

**TEL 082(513)4917 /
TEL 082(513)4985**

女性担当者対応窓口

**TEL 082(513)4918 /
TEL 082(513)4919**

相談時間:月曜～金曜(祝日および年末年始を除く)
8時30分～12時、13時～16時
※広島市立の学校については、直接、広島市教育委員会に相談してください。

■ 県立教育センター (専用電話)

「女性担当者対応窓口」
TEL 082(427)3076

相談時間:月曜～金曜(祝日および年末年始を除く)
8時30分～12時、13時～16時
※広島市立の学校については、直接、広島市教育委員会に相談してください。

自分や周りの人のことで困っていたり、悩んでいることがあったら、相談してみませんか?
電話やSNSなど相談しやすい方法で保護者の方も、相談ができます。

- 24時間子供SOSダイヤル
全国統一ダイヤル **TEL 0120(0)78310** 毎日24時間対応可能
- いじめダイヤル24
県立教育センター **TEL 082(420)1313** 月曜～金曜(祝日および年末年始を除く) / 9時～16時(留守番電話対応)左記以外の時間
- 心のふれあい相談室(不登校およびいじめに係る相談)
県立教育センター **TEL 082(428)7110** 月曜～金曜(祝日および年末年始を除く) / 9時～16時
- こころの相談室(学校や家庭、友達などに関する相談)
県福山庁舎第1庁舎内 **TEL 084(925)3040** 火曜・水曜(祝日および年末年始を除く) / 10時～17時
- LGBT電話相談(自分の性別などの悩みについて)
エソール広島 **TEL 082(207)3130** 毎週土曜(祝日および年末年始を除く) / 10時～16時
- 特別支援教育・教育相談部
県立教育センター **TEL 082(428)1188** 月曜～金曜(祝日および年末年始を除く) / 9時～16時
※広島市立の学校については、直接、広島市教育委員会に相談してください。

こころのライン相談 @広島県

午後5時～午後10時
火・水・土・日 曜日に限ります SNS相談

相談無料
匿名可
予約不要

LINE QRコード

